

市内の小・中学校では

こんな教育を行っています

●問合せ 教務課教務係(内線514)

市内各小・中学校では、『生きる力』の支えとなる、知・徳・体の調和のとれた子どもを育成するため、日常的に校内研究を行っています。
昨年の秋に行われた4つの小・中学校の研究発表会から、各校の取組を紹介します。



のぞみが丘小学校



小郡小学校



宝城中学校



大原小学校

小郡市教育委員会研究指定・委嘱研究テーマ

自分の考えを伝え、高め合う国語科学習指導

小郡小学校

互いの考えを尊重し、自分の言葉で適切に表現する力を身に付ける授業づくり

国語の学習を中心に、「考えを作る」「ペアやグループで交流する」「学んだことを自分の言葉で書く」という一連の言語活動を学習過程に位置付けています。これにより、子どもたちは互いの考えを聞き合い、自分の考えを確かなものにしていきます。

また、音読劇や授業の始めに課題意識をもつための「問い」づくり、課題を明確にしたグループ活動、個に応じた表現活動など、子どもたちの学ぶ意欲を大切に授業を行っています。

福岡県学校給食研究指定・委嘱研究テーマ

自ら健康をつくりだす子どもを育む食育

のぞみが丘小学校

自分の健康に関心をもち、健康になるために主体的に実践する力を身に付ける授業づくり

総合的な学習の時間や家庭科の授業などで、学校給食の内容と関連させたり、家庭や地域と連携したりする『のぞみ食育プラン』を作成しています。

この食育プランの一環で、自分の食事、運動、休養の課題に応じた健康プランを作成する授業を行いました。子どもたちは自分で作成した健康プランに、栄養士の先生や地域の専門家の方にアドバイスをもらいながら、具体的な健康プランを完成させ、実践しています。

福岡県道徳教育推進事業研究テーマ

豊かな心を育む道徳教育

大原小学校

自信を持って学ぶことができる授業づくり

道徳の授業を中心に、学習過程に「対話」を位置付けています。子どもたちは、自分の道徳的価値観と「登場人物」の行為の理由とを照らし合わせて、課題について考えたり、自分の考えと友だちの考えを吟味し合ったりして、道徳的価値について理解していききました。

学習の最後には、自分の生活経験を振り返り、これまでの自分、これからの自分について見つめ直す活動を行っています。

宝城中学校

豊かな心を育むことができる授業づくり

道徳の授業で、子どもたちは人物の行為に対して賛成か反対か、根拠を明らかにしながら意見を交換しています。また、学習の最後に、再度人物の行為について道徳的価値と社会との関わりから自分の感じたことをまとめ、自分自身を見つめ直し、考えの深まりを実感しています。

このように、規範意識や自尊感情、生命の尊重などの、道徳性を養うことができる授業づくりを行っています。